

# 生保営業のひよこ

## —新人から中堅へ—



(有)エヌワンエーエーエー

代表取締役 森田直子

163

生命保険を取り扱うに  
は、その前に社会保障制  
度の仕組みや保障内容を  
マスターしておく必要が  
ありますよね。生命保険  
の目的は、国が保障する  
社会保障では足りない部  
分を補うことにあります  
から、私たちは当然なが  
ら社会保障制度について  
学び、知識を持っていな  
ければなりません。

を得るのはかなり骨が折  
れます。

さらには、日本の社会  
保障制度は健康保険、介  
護保険、雇用保険、年金  
保険それぞれに窓口が異  
なり、これを横断的に説

明したり、分かりやすく  
伝えてくれるような公的  
窓口は皆無です。

このような現状に対  
し、私自身も、何とかな  
らないものかと感じるこ  
とがありました。共通の  
機関などで等しく教育を  
受けられるような制度が  
あればいいのにと常々思  
ってきたのです。

すると、なんと私のこ  
の思いにそのまま心えて  
くれるような機関ができ  
たことを知りました。

それが「一般社団法人  
公的保険アドバイザー協  
会(東京都中央区・土川  
尚己代表理事)」です。

この協会では「公的保  
険アドバイザー」という  
資格制度と、これに必要  
な講習やテキストを提供

## 公的保険をマスターしよう

は研修内容のレベルでし  
ても早速、東京で開催さ  
れた講習を受けてみまし  
たので、その感想をお知  
らせたいと思います。

普段、保険に関する解  
説文などを書く仕事をし  
ています。そして私自  
身も早速、東京で開催さ  
れた講習を受けてみまし  
た。初歩的なものか、あ  
る程度知識を有した人向  
けかという点です。

これについては、ど  
ちらもOKというのが率直  
な感想でした。研修レベ  
ルは研修内容のレベルで  
も早く、東京で開催さ  
れた講習を受けてみまし  
たので、その感想をお知  
らせたいと思います。

この分野には、単に年金の  
情報だけではなく、死亡  
保険や家族の保険を考え  
る際に必要な情報が詰ま  
っていることが分かり、  
興味深かったです。

そして「一番感心したの  
は「公的保険に関する情  
報を横断的に有し、分か  
りやすく説明する」とい  
うことに使命を持っている  
人たちが、思いを込め  
て作った講習・資格制度  
であるという点でした。  
この情報が必要だと私も  
思っていたこともあり、  
その点に最も感心と共感  
をしたわけです。専門知  
識を人のために役立てる  
には「使命感と人の思  
い」なくしては成し得な  
いものです。しかしし  
できることなら、こうし  
た人の思いだけに任せる  
のではなく、必要不可欠  
な教育制度としてもっと  
広く浸透してほしいと願  
います。

ところで先日、住友生  
命が就業不能保険分野に  
進出という記事を読みま  
した。この分野に大手生  
保が進出するのは大賛成  
です。なぜなら先にも述  
べた通り、介護保険や障  
害年金など、公的保険の  
研修や教育が徹底できる  
からです。

なお、この分野でもと  
も販売されている商品  
として、ライフネット生  
命「働く人への保険」  
と、日立キャピタル損害  
保険の「長期所得補償保  
険 リビングエール」が  
あります。

この1〜2年で  
一気に乱立してきた状態  
にあります。それだけ  
注目が集まっているとい  
うことでもあるでしょう。  
ただしこれらは就業  
不能保険というよりも特  
定疾病保険に近いと感じ  
るものがあったり、給付  
条件も各社によってまち  
まちで、顧客にとって大  
変分かりにくい状態にあ  
ります。大手生保がけん  
引することで、お客さま  
に理解されやすい分野の  
商品として発展するよ  
う、交通整理がなされる  
ことに期待しています。

長寿国の日本ですから  
生きるための保険のニー  
ズは今後ますます高くな  
るでしょう。その分、公  
的保険の知識を持つ必要  
性も高くなります。例え  
ば要介護2とはどのよう  
な状態なのか？ 実際の  
介護の現場を見る機会も  
必要かもしれません。ま  
た障害者等級と障害年金  
は全く異なる制度で窓口  
も認定基準もまるで違  
うことをどのように説明す  
るかなど、今後は公的保  
険制度の現場知識を得な  
いことには、保険の説明  
もできないということに  
なるかもしれません。だ  
からこそ、あらためて  
公的保険を学ぶ機会を持  
つことが大切だと思いま  
した。

公的保険アドバイザ  
ー協会の講習日程は以下  
から(東京と大阪で毎月  
開催)  
[https://siaa.or.jp/  
seminar/](https://siaa.or.jp/seminar/)

◆この連載は原則とし  
て毎月2回、水曜日に掲  
載しています。  
(題字下のイラストも  
筆者)

さらに深掘りして学べる  
ような内容でした。私自  
身も、知っているようで  
知らなかったことを発見  
したり、なるほどそうだ  
ったのかと感じる場面が  
多々ありました。

次いで気になっていた  
のは、営業現場でどう役  
立てるか、その具体的な  
教えがあるかという点で  
した。これも結果は大満  
足。特にねんきん定期便  
の活用や解説には感心し  
ました。あの小さななが  
き一枚には、単に年金の  
情報だけではなく、死亡  
保険や家族の保険を考え  
る際に必要な情報が詰ま  
っていることが分かり、  
興味深かったです。

そして「一番感心したの  
は「公的保険に関する情  
報を横断的に有し、分か  
りやすく説明する」とい  
うことに使命を持っている  
人たちが、思いを込め  
て作った講習・資格制度  
であるという点でした。  
この情報が必要だと私も  
思っていたこともあり、  
その点に最も感心と共感  
をしたわけです。専門知  
識を人のために役立てる  
には「使命感と人の思  
い」なくしては成し得な  
いものです。しかしし  
できることなら、こうし  
た人の思いだけに任せる  
のではなく、必要不可欠  
な教育制度としてもっと  
広く浸透してほしいと願  
います。

ところで先日、住友生  
命が就業不能保険分野に  
進出という記事を読みま  
した。この分野に大手生  
保が進出するのは大賛成  
です。なぜなら先にも述  
べた通り、介護保険や障  
害年金など、公的保険の  
研修や教育が徹底できる  
からです。

なお、この分野でもと  
も販売されている商品  
として、ライフネット生  
命「働く人への保険」  
と、日立キャピタル損害  
保険の「長期所得補償保  
険 リビングエール」が  
あります。

◆この連載は原則とし  
て毎月2回、水曜日に掲  
載しています。  
(題字下のイラストも  
筆者)